

第41回東日本中学生ラグビーフットボール大会～ラグビースクールの部及び女子の部～
兼 第27回全国ジュニアラグビーフットボール大会ファーストステージ

実施要項

2021. 10. 19

1. 目的

関東協会管下のRS 及びJr. RC(女子は中学校を含む)に所属する中学生で編成された都道
県代表チームによる大会を実施、東日本地域での中学生ラグビー活動を活性化し、中学生
プレイヤーの交流を促進すると共に、心身の発達と、競技力の向上を図る。同時に、中学
生ラグビーに携わる指導者の質の向上を図り、中学生プレイヤーを始め、関係中学生が健
全な社会形成者として必要な資質を得られるよう働きかけることを目的とする。

2. 名称

「第41回 東日本中学生ラグビーフットボール大会・ラグビースクールの部及び女子の
部兼第27回全国ジュニアラグビーフットボール大会ファーストステージ」

3. 主催 関東ラグビーフットボール協会

4. 主管 岩手県、宮城県、茨城県、長野県、山梨県、千葉県の各ラグビーフットボー
ル協会（予定）

<注意事項> 全試合無観客で実施し、観客は受け入れない。

この為、開催地のみ開示する。

5. 期日・会場 令和3年10月～11月

■ ラグビースクールの部(男子) ■

◇ ファーストステージ1, 2, 3, 4

1) 第1 地区： 11月07日 岩手県

2) 第2 地区： 10月10日 宮城県

3) 第3 地区： 11月07日 栃木県

4) 第4 地区： 10月31日 長野県

◇ セカンドステージ1, 2, 3 :

1) 第1地区(第1位) vs 第2地区(第1位) 11月13日 千葉県千葉市

2) 第3地区(第1位) vs 第4地区(第1位) 11月13日 千葉

3) 第5&第6地区： 11月13日 千葉

◇ セカンドステージ+ α

セカンドステージ1、2の敗者、セカンドステージ3の敗者11月14日 千葉

◇ ファイナルマッチ：※ 本年度は実施しない。

■ 女子の部 ■

女子第東地区： 11月14日 千葉総合

女子第西地区： 11月21日 山梨

6. 大会形式（試合組合せ・対戦）※ 試合対戦表、組合せ表は別紙に記載する。

7. 出場チームの要件 参加チームの出場要件は以下の通り。

※ 各都県は、本年度のJRFU・ベースキャンプ活動に参加(登録)が必須。

■ スクールの部 ■

主催協会管下の都道府県協会が承諾、推薦する当該協会に所属する全ラグビースクールの「主登録選手」から選考した「男子選手」によって編成された代表チームとする。但し、都道府県単独でのチーム編成ができない場合は、主催協会が事前に調整、承諾し複数の都道府県協会に編成したチームとする。

■ 女子の部 ■

要件はスクールの部と同様で、「女子選手」によって編成された代表チームとする。

8. 地区割りと出場チーム

■ スクールの部 ■ (以下14チーム) ※ 北東北は青森県と秋田県のRS 代表

- ・ 第1地区 北海道RS代表 岩手県RS代表 北東北RS代表
- ・ 第2地区 宮城県RS代表 福島県RS代表 新潟県RS代表
- ・ 第3地区 群馬県RS代表 栃木県RS代表 茨城県RS代表
- ・ 第4地区 千葉県RS代表 埼玉県RS代表 長野県RS代表
- ・ 第5・第6地区 神奈川県RS代表 東京都RS代表

■ 女子の部 ■ (以下5チーム)

- ・ 東地区 ① 北海道・東北女子代表 ② 茨城・千葉・栃木・新潟・群馬女子代表
③ 神奈川女子代表
- ・ 西地区 ① 長野・山梨・埼玉女子代表 ② 東京女子代表

9. 参加資格

- 1) (公財)日本ラグビーフットボール協会に個人登録されている者で、主たる活動チームから参加している者とする。※ 副チームから参加することはできない。
- 2) 選手は、JRFU Rugby Familyに参加チームを通じて「登録」しているU15 カテゴリー(中学3年生)(※1)の該当者であり、2006年04月02日～2007年04月01日に生まれた者で、主登録チームから推薦(承諾)された者とする。
 - ◇ なお、対象となる中学3年生の人数だけでは登録選手数が不足し、チームの編成や活動に支障が生じる等、正当な理由がある場合は中学2年生(2007年4月2日～2008年4月1日に生まれた者)の参加(要事前申請)を許可(特例)する。
 - ◇ 過年度生の試合への出場は(公財)日本ラグビー協会の規程に従って、同一時間に1名の出場に限り。但し、下記3)の外国籍選手は本特別措置を適用しない。
- 3) 外国籍選手の試合への出場は同一時間に1名以内の出場に限り。

但し、以下、①～④に該当する外国籍選手は日本国籍者と同様の扱いとなる。

 - ① 本人、両親又は祖父母のうち1名以上が日本で生まれた。
 - ② 選手登録の時点から遡って連続して60か月日本に居住している。
 - ③ 通算して10年以上日本に居住したことがある。

- ④ 本人及び本人と生計を一にする者(保護者)の生活の本拠が日本にある。
- 4) 参加選手は、事前に「保護者承諾書」「健康調査票」「体調記録報告用紙」(個人用)を提出しなければならない。
- 5) チームの役員2名の内、1名はJRFU公認コーチ資格(新スタートコーチ以上)とする。
◇ また、チームの登録役員の内1名は、現時点で当該都道府県協会の役員であること。
- 6) 出場チームの選手・役員は、本大会期間を対象とするスポーツ安全保険やスポーツ傷害保険と同等か、それ以上の傷害保険に事前に参加していなければならない。

10. 参加の為の必要書類の提出

チームは以下の書類を提出し、関東協会の担当委員が受領、承諾、内容を確認、問題がないと確認した時点で参加資格を得るものとする。

- (1) 「参加申込書」
10月21日(木)までに関東協会(info@rugby.or.jp)に送付する。☞ チーム代表者
なお、原本は、1st.ステージの試合当日に(2)の書類と一緒に提出すること。(なお、**神奈川 RS、東京 RS**、は2nd.ステージ)
- (2) 以下書類を各試合当日の KO60 分前までに現地担当委員に提出 ☞ チーム代表者
- ・ 「保護者承諾書・兼参加同意書」(選手) ☞ 但し、保護者承諾書については、1st.ステージに提出した選手はその後の提出の必要はない。
 - ・ 「体調記録報告用紙」(個人用) ➤ (選手・コーチ・SA、補助員、引率者、役員全員)
 - ・ 「チーム代表者報告用紙」 ➤ (チーム代表者)
 - ・ 「会場入場者名簿」(チーム用) ➤ (チーム代表者)
 - ・ 「メンバー表」 ※ 2試合目以降の提出期限は各会場の担当委員に確認のこと。
- (3) 登録選手の変更 ☞ チーム代表者
- ・ 登録選手変更は、開催日当日の第1試合 KO の 60 分前までにチーム代表者「登録選手変更届」を現地担当委員に提出することによって変更することができる。それ以降の変更は認めない。
この場合、追加された選手は「保護者承諾書・参加同意書」「体調記録報告用紙」(個人用)をチーム代表者経由で提出しなければならない。

11. チームの構成

- 1) チームは「登録候補選手(スコッド)」15名以上、30名以内、及び役員2名とする。
「登録候補選手」の変更は、試合日第1試合の60分前とする。

(注1) 本年度の特例措置

前述のとおり、「登録候補選手」は、1チームにつき選手30名まで登録することができるが、大会会場に引率できる選手数は「登録選手」の上限である22名に限定する。

(注2) 本年度の特例措置

参加申込書に記載することで追加できる追加帯同コーチ等は3名以内とする。

- 2) 試合グラウンド、及びベンチに入ることができるのは、メンバー表に記載された登録

役員2名(及び追加帯同コーチ3名以内)、登録選手22名以内(最低15名)、合計27名以内とする。

【確認事項】 ベンチ入りメンバーの内、最低5名はフロントローとしてしっかりと安全にスクラムを組むことができる選手を揃えていなければならない。

3) チームはセーフティアシスタント(以下「SA」)1名を登録することができる。

SAはSA認定証を携行する。SAは試合前にマッチドクターにSA認定証を提示し、試合中はドクター席横に待機し、マッチドクター(マッチドクター不在の場合はグラウンド責任者)の指示に従って適宜、活動する。SAのベンチ入りは不可とする。

12. その他のチームの役割と引率者

1) 補助員

- ・ ウォーターパーソン 当該試合のチームが担当(登録選手が担当する)

➤ 追記：3名…ビブスはチームで用意

- ・ ボールパーソン 当該試合のチームが担当(登録選手、又は登録選手以外から3名を配置する。) ☞ 登録以外の選手を配置する場合は、「体調記録報告用紙」(個人用)を提出しなければならない。

2) 引率者 ☞ なお、他の参加者と同様にチーム責任者を經由して「体調記録報告用紙」(個人用)を提出しなければならない。

- ・ 引率者は、10名まで可能とし、引率の為に必要不可欠な者とするが、チーム代表者は責任をもって管理すること。引率者の属性(保護者、コーチなど)は問わない
但し、以下の注意事項を遵守すること。

会場内でのチームとの接触は不可とし、行動エリアはベンチから離れた観戦エリアのみとして、ソーシャルディスタンスを厳守。また、アップ場所、グラウンド、ベンチ、及びベンチエリアへの侵入、接近は不可とする。

13. 競技規則及び競技方法

1) (公財)JRFU 制定の平成30年度U-15ジュニアラグビー競技規則による。

既報のとおり2021年8月1日からWRが実施する世界的試験実施ルールを適用する。

同時に同協会「U-15ジュニアラグビー競技ガイド」を準拠する。

※ レッドカードを受けた選手は、原則としてその後の本大会の試合には出場できない。
但し、最終決定は主催協会普及育成委員会の決定に委ねる。

2) 原則として、20分ハーフのみの試合とする。ウォーターブレイクを取るが、この時間はカウントしない。☞レフェリーへ要伝達の事

※ 但し、2チームによるワンマッチとなる場合は、通常の前後半での試合とする。

3) 競技手順

(1) メンバー表： 1試合目は60分前までに提出。2試合目以降は会場担当委員に確認。

(2) ベンチ： 役員席からグラウンドに向かって「8. 地区割りと出場チーム」にて記載している左側チームが左、右側チームが右とする。

ベンチ外側の10m付近で待機、前の試合終了後に前のチームが撤収後、ベンチに入る。試合終了と同時に後方10mまで下がる。

- (3) 挨拶： 試合前、試合終了後ともに行わない。※厳守
KO時間前には、試合開始ができるポジションについてセットする。
試合終了後、直ちに自チームのベンチに戻り、ベンチを撤収する。
- (4) 円陣： 試合前、ハーフタイム、ウォーターブレイク時に選手、コーチが近寄って円陣を組むことは禁止する。また、コーチ、選手間は、ある一定の距離(2m以上)を取る。
- (5) 指示： 前項の場面を含めてコーチ、選手は大きな声での指示は行わない。
特にコーチは、マスクを外しての会話や指示は厳禁とする。
また、ベンチ以外のエリアからの指示等も厳禁とする。
- (6) 接触： 試合時(含む試合前)のタックル、スクラム等を除いて、選手を含めて握手、タッチ等の接触行為は禁止する。
- (7) 交代： 交代用紙と入れ替わる新たな選手を委員席まで連れて行き意思表示する。
- (8) ボール： ボールパーソンは、試合前、ハーフタイム、終了後にボールを除菌する。
※ 委員は会場を確認し、人流が交錯しないよう動線を確認し、参加チームに伝え、周知徹底を促す。
※ 必要以外の方々について役員席などへの侵入はお断りする。
※ ルールを守っていない方は会場エリアからの退出を求める。

4) 順位決定方法(スクールの部、女子の部とも)

◇ プール戦(含む女子の部リーグ戦)：勝ち数の多いチームが上位となる。

2 チーム以上が同じ勝ち数の場合、下記の順(多い)で順位を決定

① 引き分け数 ② 総得失点差 ③ 総得点 ④ 総トライ数 ⑤ ゴール数

※ ①～⑤で決定できない場合は、抽選とする。

◇ トーナメント戦：同点の場合上位戦へ進出するチームは、下記の順(多い)にて決定

① トライ数 ② ゴール ※ ①～②決定できない場合は、抽選とする。

※ 組合せ、対戦は、6. の大会形式による。※別紙、組合せ、対戦表を参照下さい。

14. 費用(大会参加料)

- 1) 原則として参加チーム(参加者)の負担とする。
- 2) 但し、遠方チームに対しては交通費の一部を補助する。
- 3) 大会参加費は、登録選手、指導者(含む追加帯同コーチ)、SAともに1人500円とする。※ なお、追加帯同コーチなどの氏名はプログラムには掲載しない。
- 4) 試合中発生 of 負傷等の医療費(健保扱い)や経費は、チーム(選手)の負担とする。

15. 表彰

- スクールの部 ■ ファーストステージの各第1位、セカンドステージ3の1位チーム
- 女子の部 ■ 東西各地区の1位チーム

16. 第27回全国ジュニアラグビー大会への推薦

以下の成績を収め品行方正であると認められたチームを「第27回 全国ジュニアラグビーフットボール大会・ファイナルステージ」に推薦する。

- スクールの部：セカンドステージの勝者1, 2, 3, 及びセカンドステージ+αの勝者計4チーム
- 女子の部：各地区の1位チーム 計2チーム

(※) JRFU への推薦順位は、本大会の結果、本協会で審議の上、決定する。

(※) 第27回全国ジュニアラグビー大会においては、コーチの内、1名はJRFU公認コーチ(B級コーチ・育成コーチ以上)の有資格者であることが必須条件となる。

17. 諸注意

- ・ 参加チームの責任者は三密を回避して会場までの往復や会場内での行動を管理する。
- ・ 参加チームはセカンドジャージを用意すること。
- ・ 保険証を持参すること。

18. 健康管理

- 1) 出場チームの登録役員は、保護者から保護者承諾書を受領し、選手が健康であり本大会への出場に問題がないことを確認すると同時に過去の病歴や既往症などを把握し、選手が良好な健康状態を保てるよう管理努力すること。
- 2) チーム(引率役員)は、大会期間中、選手の健康管理に十分注意しなければならない。

19. 新型コロナウイルス感染症対策と感染予防

新型コロナウイルスの感染防止対策については、JRFU、或いは関東ラグビーフットボール協会の感染防止ガイドラインに準拠する。

- 1) チーム、参加者は、常時マスクを着用、除菌剤 予備マスクを用意し、チームの参加者の手指の除菌、携行品の除菌を徹底すること。
- 2) 参加者は、JRFU、及び主催協会の新型コロナ感染症対策、安全対策等のガイドラインを遵守し、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、当日の試合開始までに以下に記載した内容を履行すること。
- 3) 「必要書類の提出」 ☞ 注意事項

チームは、期日までに提出した選手の「保護者承諾書・兼参加同意書」を除き、以下の書類は、試合日毎に大会役員に提出しなければならない。

「保護者承諾書・兼参加同意書」 「体調記録報告用紙」(個人用)

「チーム代表者報告用紙」 「会場入場者名簿」(チーム用)

- ① 選手は、事前に保護者の「保護者承諾書・兼参加同意書」と、健康状況を記載した「体調記録報告用紙」(個人用)をチーム代表者に提出する。
- ② コーチ、登録SA、撮影担当者、引率者は、自らの「体調記録報告用紙」(個人用)をチーム代表者に提出する。
- ③ チーム代表者は、当日のチーム関係者全員(含む自身)から健康状況に関する「体調

記録報告用紙」(個人用)を受領し、確認、問題の有無を把握した上で、「チーム代表者報告用紙」「会場入場者名簿」(チーム用)を記載し、受付(大会役員席)時に大会役員に提出する。

- ④ 担当委員、レフェリーは選手と同様に、自らの「体調記録報告用紙」(個人用)を作成し、大会役員に提出する。
- ⑤ 担当委員は、「会場入場者名簿」(役員用)を作成し、当日に大会役員全員の「体調記録報告用紙」(個人用)を受け取り、確認・保管する。
- ⑥ 主催協会は、上記の要項で参加者全員の体調を書面により確認し、提出された書面や大会当日の日程、待機場所、運営の詳細等を、保存期間(少なくとも1ヶ月以上)を定めて保存する。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症を罹患及び罹患の疑いがある場合の対応については、直ちに該当保健所に連絡するとともに、担当委員、主催、主管協会、協力団体に報告する
- ⑧ 委員は試合記録、選手、及び参加者の状況を主催協会に報告すること。

○ 大会申合せ事項 ○ —————重要事項・確認事項—————

上記に加えて、以下の事項(再確認事項有り)を厳守する。上記、下記記載事項を履行できていないチーム・関係者については、それ以降の参加は不可としますのでご注意ください。

＝選手・保護者の大会参加への意思を尊重すること＝

- ① 選手、代表者・役員等が次の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること。
 - ・ 体調がよくない場合(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・ 過去14日以内にクラスター発生施設への滞在歴がある場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを常時着用すること。予備のマスクも用意すること。
- ③ チームにて高濃度アルコール等の除菌剤を持参し、チーム全員はこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ 他の参加者や役員等との距離(できるだけ2m以上、競技の特殊性や施設などの事情で困難な場合も少なくとも1～2mは人との距離)を確保すること。
- ⑤ 声を出しての声援、応援は厳に慎むだけでなく、大会中に大きな声での会話も慎むこ

と。

- ⑥ 感染防止のために決めた措置を遵守し指示に従うこと。
- ⑦ (再確認) 無観客で開催すること。グラウンドに入れるのは登録した選手や指定された参加者であり、必要書類や感染予防用品を常備している関係者のみとする。
- ⑧ ペットボトル、タオル等は各自で用意し、個別に使用し、スクィーズボトルなどの使いまわしは厳禁とする。
- ⑨ ゴミは各自で持ち帰ること。
- ⑩ チームはこれらの注意事項を周知徹底し、履行すること。

以 上

【主催協会事務局】 関東ラグビーフットボール協会 〒107-0061 港区北青山2-8-35
TEL03-3423-4421/FAX03-3423-4619 info@rugby.or.jp